

2 指導案例

「災害後の生活を考えよう」(本時8/9時間目)

(1) 本時の目標

- ・災害への備えを工夫し、活用することができる。(工夫)
- ・災害後の生活を想定して、限られたライフラインの条件での食事作りを通して、災害後の生活に必要な物が判断することができる。(技能)

(2) 準備・資料

教師：前時の発表用の用紙

生徒：調理実習の準備、グループで準備した食材、ワークシート

(3) 学習過程

段階	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
つかむ 5分	1 前時の内容を確認する。(一斉) ・非常用持ち出し袋に備えてある物 ・水の量 ・使える食材 ・献立や手順	○前時に話し合った献立名と水の量を書いた用紙を黒板に貼っておく。 ○授業前に必要な食材や調理器具を調理台の上に置くよう指示する。 ○災害後ライフラインが止まった状態で家にいる想定を確認する。 ○班で話し合った非常用持ち出し袋に備えておく水の量を確認し計量させる。
	2 本時の学習内容を知る。(一斉)	○本時の目標を板書する。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">災害後の生活を考えて調理をしよう</div>		
実践する 15分	3 調理実習をする。(グループ) 【材料】アルファ米、乾物(切り干し大根、乾燥わかめ)、缶詰(ツナ、さば、いわし、コーン)、調味料(マヨネーズ、しょうゆ、ドレッシング、ポン酢)等、各グループで用意した食材 ・アルファ米を水でご飯に戻そう。やわらかくなるまでに1時間ぐらいかかるよ。 ・食べやすいようにおにぎりにしよう ・ツナとマヨネーズを和えて、中に入れよう。 ・切り干し大根と乾燥わかめを水に戻して、好みの缶詰と混ぜ合わせてサラダにしよう。 ・サラダは、調味料を変えるといろいろな味を楽しむことができるよ。	○野菜や皿を洗うときも、備えておいた水を使用することを確認し、水の大切さに気付くように促す。 ○非常用持ち出し袋に入っているものを工夫するよう指示する。 ○できた班から調理台を整えて、他の班の調理を観察する。
広げる	4 班の工夫を発表する。(グループ) ・食品用ラップフィルムを紙皿に敷いた。 ・野菜はビニール袋の中で洗った。 ・フライパンにアルミホイルを敷いた。	○調理台に集まり、災害後を考慮した工夫を発表させることで、非常持ち出し袋に備えるべき物や必要な水の量を再度考えるきっかけとする。 ○発表を聞いて、自分の班にも生かせることがある

<指導案>

10分	<ul style="list-style-type: none"> ・カップ入りスナック菓子のカップは中にアルミホイルが貼ってあり、飲み物を入れることができる。 	<p>か考えるよう助言をする。 ☆災害への備えを工夫して活用できたか。 (発表の様子, ワークシート) 【工】</p>
<p>深める 10分</p>	<p>5 会食する。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾パンはのどが渇くが満腹感がある。 ・思った以上に飲用の水が必要である。 ・配給におにぎりやパンが多いのは食べやすく片付けが楽で満腹感があるからではないだろうか。 ・食品用ラップフィルムやアルミホイルを使うと便利だがゴミが増える。 ・高齢者や乳幼児が家族にいたら、同じ食事では困るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○味だけでなく、食べやすさや満腹感にも関心をもつようにする。 ○飲用の水がどのくらい必要か考えるきっかけにする。 ○避難所であればもっと不便な生活になると考えると、どのような物を非常持ち出し袋に入れておくに役に立つか考えるきっかけにする。 ○高齢者や乳幼児に関する意見を意図的に取り上げ、意見を共有する。
<p>まとめ 10分</p>	<p>6 本時の学習について自分の考えをまとめる。(個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族構成や生活スタイルによって非常用持ち出し袋に入れておく物の種類や数は変わるのではないか。 ・家の非常持ち出し袋を、災害後イメージしながら再確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害後への備えの改善点と本時の振り返りをワークシートに書くよう指示する。 <p>☆災害後の生活を想定して、限られたライフラインの条件での食事作りを通して、災害後の生活に必要な物が判断できたか。 (発表の様子, ワークシート) 【技】</p>

(4) 評価

- ・災害への備えを工夫し、活用することができたか。 (実習の様子, ワークシートから)
- ・災害後の生活を想定して、限られたライフラインの条件での食事づくりを通して、災害後の生活に必要な物が判断できたか。 (実習の様子, ワークシートから)